

第3学年 日本語学級「わたしたちの日本じまん」(オンライン授業)

トピックのねらい		<p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。</p> <p>○相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。</p> <p>○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。</p>
日本語の目標		○「わたしがしょうかいしたいのは○○です。紹介したい理由は二つあります。一つ目は～で…。」を使って日本の文化を紹介することができる。
関連	教科・単元	国語科「わたしたちの学校じまん」A 総合「ドキドキ!日本たんけんたい」B
	くらし・行事	「お正月」C 「日本の祭り」D 「節分」E
主な学習活動		<p>① 見本を例にして、相手に伝わりやすい紹介文の構成を理解し、自分が紹介したい日本の良さの文の構成を考える。</p> <p>② 聞き手や会場の広さ、話の中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫しながら、例文を発表する。</p>

教材・教具：総合のプリント、ホワイトボード、国語の教科書・ノート

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 お正月について振り返り、冬休みに経験したお正月らしいことを話す。	◇パワーポイントでイラストを用いながら、お節を食べたかどうかなどの質問を提示する。	C
	分かりやすく、ワクワクするようなしょうかいぶんを書こう。		
	2 発表原稿の書き方を理解する。 ① 日本の祭りについて書いた紹介文の例の構成を考える。 ② ひとつこと付け足す場合、何をどこに入れるのか選ぶ。	<p>○◇短く端的な文章で、段落間を開け、文章構成を理解しやすいように提示し、はじめには紹介したいもの、中には紹介したい理由、終わりにはまとめや自分の考えを書くことを確認する。</p> <p>◇「…だそうです。」で終わる他人から聞いた文章と、「～でした。」で終わる経験したことのある文章を並べて、どちらの文章の方が読み手を惹きつけるのか問う。他人から聞いたことばかりよりも、経験に基づく事柄があると生き生きした発表になることに気付くようにする。</p>	A B D
	3 発表に用いる資料を選ぶ。	◇関係のない写真と関係のある写真を並べて見せて、どちらがより伝わるか考える。発表内容と関係のある写真があるとより伝わりやすいことをおさえる。	A B
	4 自分の発表原稿を組み立てる。 5 学習をふりかえる。	<p>○ノートに組み立てメモを書き、始め・中・終わりの内容を簡単に記入するように伝える。</p> <p>○グループを分けて組み立てメモを確認する。</p> <p>◇自己評価を口頭で行う。</p>	A B A B

2	<p>1 紹介文を並び替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始め・中・終わりの内容に注目して、紹介文の内容を並び替える。 	<p>○始め・中・終わりの内容を書いたヒントを提示する。 ○パワーポイントに一段落ずつ並べ、児童の指示で並び替える。</p>	A
	<p>声をコントロールして、伝えたいことを分かりやすく伝えよう！</p>		
	<p>2 声の強弱や速さの違いを考えて練習する。</p>	<p>○聞き手や発表する場所に合わせた声の大きさや速さについて、みんなで考える。総合の発表会で、英会話の先生に伝えることを児童に伝える。 ○教師の声をまねて、大きい声や小さい声、明るい声、暗い声等を練習する。</p>	B
	<p>3 声以外で伝える際の工夫について知る。</p>	<p>○声で伝える以外にも、伝えたい内容をより伝わりやすくするために資料を活用する方法もあることを確認する。</p>	A D
	<p>4 グループで読み方を工夫して文章を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡された文章の役割を分担し、伝えたい文を選んで読み方を話し合う。 	<p>◇日本の祭りの紹介文を用いて、特に伝えたいこととその話し方を考えさせる。 ◇祭りにちなみ、「わっしょい」という声掛けで練習する。</p>	A
<p>5 グループごとに発表し、感想を伝え合う。</p>	<p>○節分の「豆まき」と「恵方巻」についての文章を読む。 ◇ジャムボードの付箋機能を使用して、読み方のメモにする。</p>	A E	

令和3年度 第3学年 日本語学級「わたしたちの日本じまん」ふりかえり

児童 の 様子	≪日本語学級での様子≫ 【1時間目】 ○正月遊びは1年生の生活科でしたことが記憶によく残っていた。年越しそばやお雑煮、元日等のお正月の言葉になじみが薄く、今回の学習で理解を深めていた。 ○日本のよさを紹介する文を書くために宮古島の祭りを挙げた。動画を観て興味がわき、真剣に資料の写真の選び方を考えたり祭りへの思いを語ったりしていた。 【2時間目】 ○紹介文の段落の並び替えはよくできた。 ○発表する際の声量や声色について考えたが、様々なバリエーションを知っていたので、実際にそれができるように練習を頑張った。 ○節分に関しての文を音読する活動では、「節分」の名前自体を知らない児童や、今までほとんどこの行事をしたことのない児童もいたので、今回行事への理解を深めていた。 ○音読はつまりがちで読み間違いの児童が多く、どこを強調していいのかよく分かっていないようだった。 ▲次回はオンラインでも節分行事を体感できる活動ができるようにしたい。 ≪在籍学級での様子≫ ○段落の大まかな内容を理解し書くことができた。 ▲読み方の工夫はあまりできていなかった。									
	学習活動 案 について	<table border="1"> <tr> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 1時間目 </td> <td style="vertical-align: middle;"> 成果 </td> <td> ○正月の食べ物の話や楽しそうな祭りを聞いたので、生き生きと自分の気持ちを話すことができた。 ○祭りの動画を聞いたことで、祭りの様子が分かり、普段話さない児童がたくさん話すことができた。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 2時間目 </td> <td style="vertical-align: middle;"> 成果 </td> <td> △手遊びなどができるとよかった。また、説明を終えても、「中」にどんな内容を書くのか把握できていない児童がいた。 →書くことの内容を複数の児童に口頭で確認したり、例を多く提示したりしてから書く作業にうつる。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle; text-align: center;"> 課題 </td> <td></td> <td> △音読教材（紹介文）の強調する箇所が分からない。 →例を挙げることで、子供自身に強調する箇所を考えさせる。また、理論的にどんなところを強調して伝えるのか教える。 </td> </tr> </table>	1時間目	成果	○正月の食べ物の話や楽しそうな祭りを聞いたので、生き生きと自分の気持ちを話すことができた。 ○祭りの動画を聞いたことで、祭りの様子が分かり、普段話さない児童がたくさん話すことができた。	2時間目	成果	△手遊びなどができるとよかった。また、説明を終えても、「中」にどんな内容を書くのか把握できていない児童がいた。 →書くことの内容を複数の児童に口頭で確認したり、例を多く提示したりしてから書く作業にうつる。	課題	
1時間目	成果	○正月の食べ物の話や楽しそうな祭りを聞いたので、生き生きと自分の気持ちを話すことができた。 ○祭りの動画を聞いたことで、祭りの様子が分かり、普段話さない児童がたくさん話すことができた。								
2時間目	成果	△手遊びなどができるとよかった。また、説明を終えても、「中」にどんな内容を書くのか把握できていない児童がいた。 →書くことの内容を複数の児童に口頭で確認したり、例を多く提示したりしてから書く作業にうつる。								
課題		△音読教材（紹介文）の強調する箇所が分からない。 →例を挙げることで、子供自身に強調する箇所を考えさせる。また、理論的にどんなところを強調して伝えるのか教える。								